第５回埼玉県消防学校再整備基本構想策定委員会　議事概要

令和８年１０月２９日（木）１５：００～１５：５０
オンライン開催（Teams）

（出席者）

原田　久	立教大学法学部学部長
小林　恭一	危険物保安技術協会特別顧問
田中　富也	総務省消防庁消防大学校副校長
和田　浩司	さいたま市消防局長
髙橋　光晴	埼玉県消防協会会長
熊谷　智子	日本消防設備安全センター上席調査役（元川崎市中原消防署署長）
鈴木　亜弥子	川口市消防局消防長
鈴木　健志	埼玉県危機管理防災部埼玉版 FEMA 推進幹

（欠席者）

竹本　吉利	一般社団法人独立蓄積型データ放送研究開発機構

（次第）

１　開会
２　委員長あいさつ
３　議題（基本計画策定に向けた現段階の検討内容）
４　今後のスケジュール
５　閉会

（議事）基本計画策定に向けた現段階の検討内容
　　事務局が説明

（原田委員長）
　資料や説明を踏まえて、各委員から御意見、御質問、あるいは、何らかの情報があれば、頂戴したい。
　少しお尋ねを私からしたい、今日パワーポイントの資料としてお見せ頂いたわけだが、基本計画となると文章化したものを別途用意をするというような理解でよろしいか。
（事務局）
　基本的にはパワーポイント形式の形で作成することを考えている。例えば今回の資料に今までの経緯とか、今回の資料も付け加えた形で公表資料を作成していきたいと考えている。
（原田委員長）
　今日の議論、委員の方々から意見等を頂いた場合にはこのファイルに加筆削除し、それが計画として公表されるということでよろしいか。
（事務局）
　おっしゃるとおり。

（田中委員）
　５ページの校舎、宿舎等のレイアウトの機能、ジェンダーに配慮した学習環境という経緯の部分で、女子トイレの整備、女性に配慮した学習環境の点で具体的な案があればもう少し聞かせていただきたい。
（事務局）
　１階と２階の学習エリアになる部分については、男性と女性のトイレを拡充していく形で考えている。また女性の浴場については、現在はユニットバスで入っているが、最上階に大浴場を男性用と女性用を設ける形で考えている。そのほかジェンダー配慮という意味では、寮室での共同生活では対応が難しい場合に備え、個室にシャワー室を入れる形で考えている。
（小林委員）
　最後の委員会では、建て替えの有無について、既存の校舎をなるべく建て替えるようにしたいという程度の話で確定していなかったと思うが、もう建て替えを前提として考えることができるという状態になったと理解してよろしいか。
（事務局）
　建て替える前提で、今であれば中央に校舎棟があるが、全部建て替えて除却するような形で、広いスペースをつくっていきたいと考えている。
（小林委員）
　予算面でも確定ということでよろしいか。
（事務局）
　予算要求はこれから行うが、それを前提とした予算要求を考えている。
（鈴木委員）
　女性エリアが３階にあるが、５階の大浴場を使うということは、男性用の寮室の中に大浴場だけは女性の部分があるということかという質問と、１ユニット６人この寮室の中にもトイレ、ユニットバスがあるのか教えていただきたい。
（事務局）
　現状３階に女性部屋を設けているのは、女性寮は職員室に近いところのほうが生徒指導の観点から望ましいという教官からの意見で３階にしている。浴場を途中の３階に設けてしまうと、浴場の水蒸気を処理するという観点から階高が高くなってしまうため５階に大浴場を置いている。来年度以降の設計で階段から大浴場に直接アクセスできるような形や、男性エリアと女性エリアをもう少し区分けできるような具体的な設計を検討したいと考えている。
１ユニットの中は個室と談話室という構成で、特段ユニットの中にユニットバス等を設けることは考えていない。トイレ等は水廻りに設置する方向で検討している。
（原田委員長）
　男性エリアと女性エリアは施設的に固定されるのか。
（事務局）
　女性エリアは女性の人数の変化に対応できるように、防火扉のような可変性の壁でエリアを区切る場所を変更する形で考えているため、３階に女性エリア設けた場合には３階で固定になると考えている。
（熊谷委員）
　今は消防署でも個室のシャワーブースが多く、大浴場という考え方がこれからどうなのか、また、男性と同じ階に浴室があるとしたら女性用の浴室に鍵をかけるとか、暗証番号で入るとかセキュリティーも検討しなくてはならない。設計上難しい

のかもしれないが、もう少し広い意見が必要だと思った。さらにもう一つが、学生が寮に入っている時期に緊急消防援助隊が来た場合、緊急消防援助隊が宿泊するスペースとしてはどの辺りを考えているのか、それからその方々の衛生関係でトイレ、風呂等の宿舎になるようなスペースはどのように考えているのか。
（事務局）
　大浴場なのか個別のシャワーなのかは、現状の教育、指導の観点で大浴場を基本に現在まで検討してきているところである。女性エリアの暗証番号等については、詳細な設置形式はこれからである。女性エリアに入るところでは鍵をかける方向で検討しているため、同様のセキュリティーは大浴場にも施す形になると想定している。
緊急消防援助隊の宿泊スペースについては、教室、救急実習室や講堂に広いスペースがあるため、こういったところに泊まっていただく。あとは全天候型屋内訓練施設に入っていただく形で考えている。そのほか専科棟の中にも大教室も使用できる。こうしたスペースに、具体的に何人まで入るかはこれから計算していきたい。
（熊谷委員）
　今後は緊急消防援助隊にも女性が増えてくることを勘案していただきたい。
（原田委員長）
　鈴木委員の質問と関わるところで、誰でもトイレがあるのであれば、誰でもシャワーもあってもいいと個人的に思う。１人でお風呂に入りたいという方は、男性女性限らずありうる話で、その辺りが確保されていると、少し気が楽になるのではないか。今後詳細な設計を進める際に配慮していただきたい。
（事務局）
　舎監と教員用のシャワーのスペースに加えて、もう何箇所か用意するなど、そういった観点も踏まえて検討したい。
（原田委員長）
　今回の基本計画の中では、どこにどれぐらいのスペースを用意すれば、都府県からの応援の援助隊を受け入れることができるのかというようなことが書かれているが、教室、施設の在り方に影響や関係はあるのか気になった。
（事務局）
　教室は移動間仕切りにして、一つの大教室にもできるような形で考えている。オペレーションルームのような形での使用も可能であり、モニター等の設備については設計の中で詳細に考えたい。先ほどの、DX のところであったように、ネットワークを整理などでデュアルユースができるような設計、計画にしていきたいと考えている。
（小林委員）
　１ユニット６人の個室と談話室は確定か。プライバシーの確保と一体性の確保を両立していて、非常にいいと思うが、談話室と個室の位置は工夫の余地があると思うが。
（事務局）
　１ユニット６人という考え方のもとに設計を進めていきたい考えているが、ユニット内のレイアウトは確定ではない、設計の中で学生の意見や他の学校のレイアウト等も参考にしながら、検討したい。

（和田委員）
　消防車両とか車はどの位置に配置されるのか。
（事務局）
　現在の車庫を取り壊し、校舎の１階に設ける。
（原田委員長）
　改めて取りまとめると、本日見せていただいた基本計画案に加筆の可能性があれば加筆してほしいものは、一つ目が水回りのところが固定的にならないような形で少し自由度があるような形で今後設計するということ。二つ目に、緊急消防援助隊を受け入れる場合の、受入れを前提としたレイアウトが校舎や宿舎等の機能に考えられているということが分かるようにするということ。そしてユニットについても、これにこだわることなく、いろいろな提案を踏まえて設計をするということ。実際に文章にするということが難しい場合には、そういったことを前提に、この基本計画をさらに、具体化していただければと思う。
（事務局）
　頂いたご意見を踏まえて進めさせていただく。